

第6回野鳥園臨港緑地干潟湿地環境保全事業委託アドバイザーボード 議事概要

1. 日 時

平成29年6月5日（月曜日）

午後2時～午後4時

2. 場 所

大阪市建設局 第10・11共通会議室

大阪市住之江区南港北2-1-10

3. 参加者

【委員】

鴻原委員、長瀬委員、山西委員、矢持委員

【協働事業者】

NPO法人南港ウェットランドグループ理事長 高田

大阪市建設局臨港方面管理事務所管理課長 綱

大阪市港湾局計画整備部施設管理課長 角谷

住之江区役所協働まちづくり課相談調整担当課長代理 浜上

【事務局】

大阪市建設局臨港方面管理事務所管理課

大阪市港湾局計画整備部施設管理課

4. 議事

- ・ 平成28年度事業報告
- ・ 平成28年度事業にかかる目標管理評価
- ・ 平成29年度事業計画
- ・ 平成29年度事業にかかる目標設定

5. 議事概要

- ・ 塩分測定については、時間的・空間的な面で方法の検討が必要であると思われるが、来年度以降も継続するにあたり、測定方法については湿地再生PTでの意見も参考に検討すべきだ。
- ・ 塩分測定については、日常的に簡易に測定できる体制を整え、調査頻度を高めるべきだ。
- ・ アカテガニ観察会については、来園者がより観察しやすくするため、湿地内に観察サイトの整備等を検討してはどうか。
- ・ 鳥や生きもののイラストが入ったオリジナルグッズを作成し、参加者に配布するなどしてはどうか。
- ・ 大阪港開港150年記念事業への参画にあたっては大都市の中にある貴重な自然環境であるという特徴もPRしてほしい。

- ・ 目標管理においては、定性的な評価と定量的な評価を合わせて、総合的な評価を試みてはどうか。
- ・ 中学校の生徒と行うカキ礁移動作業においては、単にカキ礁を移動させるだけではなく、カキ礁の持つ生物多様性についても子どもたちにレクチャーしてほしい。
- ・ それぞれの池が持つ多様性がなくなってしまう懸念があるため、湿地の保全作業にあたっては慎重に行ってほしい。
- ・ アカテガニ等野鳥園の貴重な資源の発信については、地元を中心として徐々に大阪市広域へ広げていくとのことであるが、スピード感を持ちつつ進めてほしい。
- ・ リピーター→サポーター→野鳥・湿地ガイド→トータルコーディネーターといった人材育成の順番を明確にし、中長期的に制度設計に取り組んでほしい。
- ・ 今のところ、増やしたりピーターを定着させる手法や、さらにその先サポーターにする手法をどう構築するかが大きな課題となっている。
- ・ 落葉の投入に関しては、適切な調査方法のもと、湿地生態系の創出に有効である可能性が高いことがわかり、評価できる。引き続き経過観察に取り組んでほしい。